

## 1. テーマ設定の理由

Q 何でSDGs 5 ジェンダー平等を実現しようにしたの？

A 私は小学生の時に兄が使っていた黒いランドセルを使っていました。ですがその時に「何で女の子なのに黒いランドセルを使っているの？」と言われたことがあります。私はその時に「何で女の子は赤で男の子は黒というイメージがあるのだろう」と思いました。他にも「女の子なんだからこの習い事はダメ」と言われたりと「女の子だから」という理由で制限されたことがありました。私はこのような経験からSDGs 5の「ジェンダー平等を実現しよう」を調べていこうと考えました。

## 2. 派遣国で調査や観察したこと

### 1か月目 「韓国の一人一人の教育」

まず1か月目は韓国のSDGsはどんな感じで皆はどのような取り組みをしているのかを一ヶ月目は街を見てみたり、学校の様子を見てみました。9月の目標は「韓国の1人1人の教育の選択」についてです。まず調査を開始しようと思い学校内を見てみたところ、私とゆきちゃんが留学している大邱カトリック大学では常磐大学のように生徒一人一人に呼びかけたりなどはしていません。学食内にも呼びかけのポスターなどはありませんでした。現時点では私たちがいつも授業を受けている棟や学食にはポスターなどはありませんでした。また、韓国の友人にSDGsについて聞いてみたところ、SDGs自体知らない人がいました。韓国では生徒や市民の一人一人ではなく企業が中心におこなっているのではないのかなと感じました。ですが、日本のように市民が意識的に活動することもできるので、知らない人がいたらSDGsについて説明していこうと思います。また、韓国ではSDGsの5番目のジェンダー平等を実現しように関して呼びかけをせずとも無意識に平等になっているのかもしれない。街を歩いている女の子の制服がスカートじゃなくてズボンの人もいたり制服に対しても選択をする自由があるのではないのかなと思いました。これは、事前に韓国から留学していた人に聞いていたので実際に自分で確かめることができよかったです。同じアジアでもこんなにも違うとは思いませんでした。今回1回目のSDGs調査では、あまり達成ができなかったと自分でも思っています。10月の調査ではSDGsのことを知らない人がいたら説明からしてそこからSDGsの話につなげられたらなと思っています。

## 2 か月目 「女性の政治での活躍」

2 か月目は「女性の政治での活躍」を調べました。現在日本では少子高齢化が進んでいるというというのは皆さんも聞いたことがあると思います。その背景の中には「女性の社会での不自由さ」も少なからずあるのではないのかなと思います。今月はこのテーマで調べようと思いました。もし、女性が政治で更に活躍したら女性が抱えている社会の不自由さがもっと解決するのではないのかと思います、まずは「韓国での女性政治はどんな感じなのか」を聞いてみました。聞いてみると「女性の政治活躍はあまりない感じがする」と言っていました。「現在韓国で女性の政治家もいるが政治的な方面をしてみると何とも言えない部分がある。」そうです。さらに韓国社会では女性の地位について良くないと考える人がまだ存在するそうです。ですが、「少しずつですが女性が政治をすることで韓国が変化していると感じる」と言っていた人もいました。女性が活躍することで、今まで気がつかなかったことや女性の働きやすさなどがさらに改善されたり法律ができたそうです。ですが最近では、「結婚はしない」という人や、「自分の分は自分で働いて稼ぐ」という人が増えたそうです。話を聞いていて驚いたことが、韓国では今まで中絶をすると罪に問われたりしていたそうです。女性が中絶を必要としても、社会の雰囲気でも多くの問題が発生しているということがわかりました。確かに命は大事なのでさまざまな意見が出るということはわかりますが、「自己決定権」は守られるべきだと思います。これは韓国だけではなく日本でもそのような感じがします。少しずつ改善されているということはわかったのですが、速度が遅すぎて手遅れになる可能性もあるのでこの部分は韓国も日本と似ているなと思いました。公的な経済支援などをさらに厚くすることで一人ひとりの女性の選択が変わってくるのではないのかなと思いました。今起きている現状はわかっているのにそれを見てないふりをしたり他のことを問題視しすぎていてあまり注目されていないというのものもあるのではないのかなと思いました。

## 3 か月目 「女性の経済」

3 か月目は女性の経済についてです。調べて分かったことは、韓国では性別に関係なく働いているということがわかりました。最近では女性の方が給料が高い人もいます。また、旦那さんが育児をして奥さんが働いたりといろいろな選択肢があるということがわかりました。私自身街を歩いていると男性が子供と遊んでいたり、買い物をしている人をよく見かけます。話を聞いていると昔よりも男性とも「差」はないそうです。逆に韓国では女性のほとんどが働いているので働いていない人を見かけると、「何で？」や「お金持ちなの？」と疑問に思う人がいるそうです。ですが、高い位の人や、役員を見ているとまだ女性よりも男性の方が多そうです。女性は結婚、出産、育児などを史ながらの仕事をしている人が多いという話を聞きました。ですが以前と違って結婚と出

産の年齢が上がったという事から女性の経済活動が活発になっていっています。最近では育児休業を女性ではなく男性が出すことも多くなり、女性が働きに出るということも多くなったと話していました。他にも、男性の軍隊制度の話もしました。韓国での軍隊制度では、何年にも前にも「男性だけなのは差別なのではないのか」という話が出たそうです。私が初めて知ったことが、「女性も希望を出せば行くことができる」ということです。他にも分かったことは、「昔と比べて行く期間が減った」ということや「給料がもらえる」ということ「割引」があるということです。また、休暇もあるそうです。私自身街を歩いていると、軍服を着て歩いている人を見ました。休暇については、真面目に訓練をしていたり、体育大会で優勝すると休暇がもらえたりするそうです。女性も職業によっては行くということも分かりました。今回の「経済」については女性の職業、育児、出産で経済の影響だけではなく、韓国全体で起きていることが分かりました。また、男性も育児に積極的であることも分かりました。

### 3. 「日本と韓国の取り組み方の違い」

調べていて感じたことは、韓国では日本のようにポスターでの呼びかけが無かったり、SDGs自体知らないという人が多かったです。なので最初はどうすればいいのかわからなかったのですが調べていると韓国ではSDGsの取り組みを呼びかけをせずとも行っているのではないのかなと思いました。

### 4. 「日本での取り組み」

私が調べてきた中で良いなと思ったのは「男性も育児休暇が取りやすい」ということです。実際に街を歩いても男性が積極的に育児をしている姿を観ました。男性が育児休暇を取り女性が働くという「いろいろな選択ができる」それを応援してくれる制度が良いなと感じました。日本でも「育児休暇」はありますが、「令和3年度雇用均等基本調査」によると、女性の育児休暇の取得期間はおよそ8割が10か月以上に対し、男性の育児休暇の取得期間はその半数以上が2週間未満というデータがありました。この現状を解決していくためには、育児休暇を見越して多めに人を採用したりなど育児休暇を取りやすい環境づくりをすることが大事なのではないのかなと思いました。